

第228号 通巻40巻第1号 令和2(2020)年4月15日発行

守山市立埋蔵文化財センター 〒524-0212 守山市服部町2250番地

TEL&Fax 077 (585) 4397 Mail maizobunkazai@city.moriyama.lg.jp

令和2年度が始まりましたが、現在、世界的な感染症の拡大が予断を許さない状況下にあります。そのようなことから、この禍が終息し、そして、令和という元号が標榜する、人々が心を一つにして、新たな文化を創出していける日が一刻も早く迎えられることを願い、冒頭に掲げます。そのためには一人一人が規律を守り、今少し我慢することが疫病との戦いに勝利する定石ではないでしょうか。

それでは、2月以降の発掘調査の成果と埋蔵文化財センター事業を報告していきます。

### 発掘調査だより

#### 播磨田東遺跡58次調査

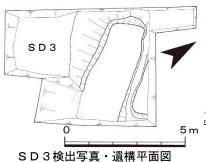
令和2年3月11日に、播磨田町字平芝の宅地分譲地で個人住宅新築に伴い発掘調査を実施しました。面積は約60㎡で、調査の結果、地下約70㎝で2条の溝(SD1,2)とその溝に重複を受ける溝(SD3)を検出しました。

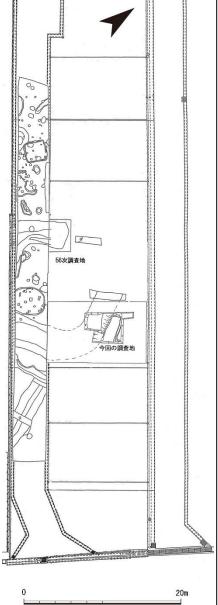
まず、2条の溝(SD1、2)は南東・北西方向に伸び、いずれも幅約1m、深さ10m程度の規模となります。灰色系の埋土からは土師器や瓦が出土していますが、小さな破片であるため、詳細な時期を特定することはできませんでした。整理調査を進める中で検討していきたいと思います。

SD-1、2に切られるSD-3は、南西・北西方向に伸び、幅約4m、深さが1m近い大溝です。今回の宅地の造成工事に先立ち、平成30年に実施した56次の調査では、この大溝を前方後方型周溝墓と推定していました。右図に示すように、今回検出した大溝もその周溝の一部にあたるものと考えられます。

当地周辺からは、これまでに4基以上の前方後方型周溝墓が 見つかっていて、古墳時代前期の頃には、大規模な墓域を形成 していたことがうかがえます。 (川畑)







#### 播磨田西遺跡36次調査

前号で、調査の開始を報告しました播磨田西遺跡の発掘調査は2月末で終了しました。今回の調査は、石田町字下笠村地先で宅地造成工事に先立ち実施した試掘調査で遺構が見つかったことから、播磨田西遺跡の分布が広がったものとして発掘調査したものです。

調査は宅地内道路の約520㎡が対象で、北西、南東半の2 調査区に分けて行った結果、土坑、溝、ピットを検出しました。土坑は10基を数えますが、そのうち土坑4は多角形をしており、約3.5m×4.0m、深さは約10cmの規模となり、弥生時代後期の壺が出土しました。建物跡の可能性があります。

このほかの土坑は不定形をしており、弥生時代中期の壺や 受口状口縁甕、古墳時代後期の土師器が出土しています。

溝は溝3以外は東西方向に伸びる溝でした。このうち溝4は、約3mの幅をもち、西寄りで深くなる傾向にありました。また、ほぼ真ん中で大きく窪んでいて、古墳時代の壺や甕、高坏が出土しました。

今回の調査で播磨田西遺跡はさらに広い範囲に広がることが確認できました。また、出土遺物の中に縄文晩期の深鉢が見つかっていますが、これまで遺跡内では縄文時代中期まで遡る遺物も出土していることから、縄文時代の遺構の存在がうかがえます。 (畑本)



溝 4 土器出土状況写真



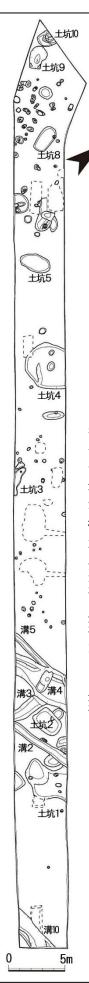
溝4検出写真



土坑 4 土器出土状況写真



土坑4検出写真





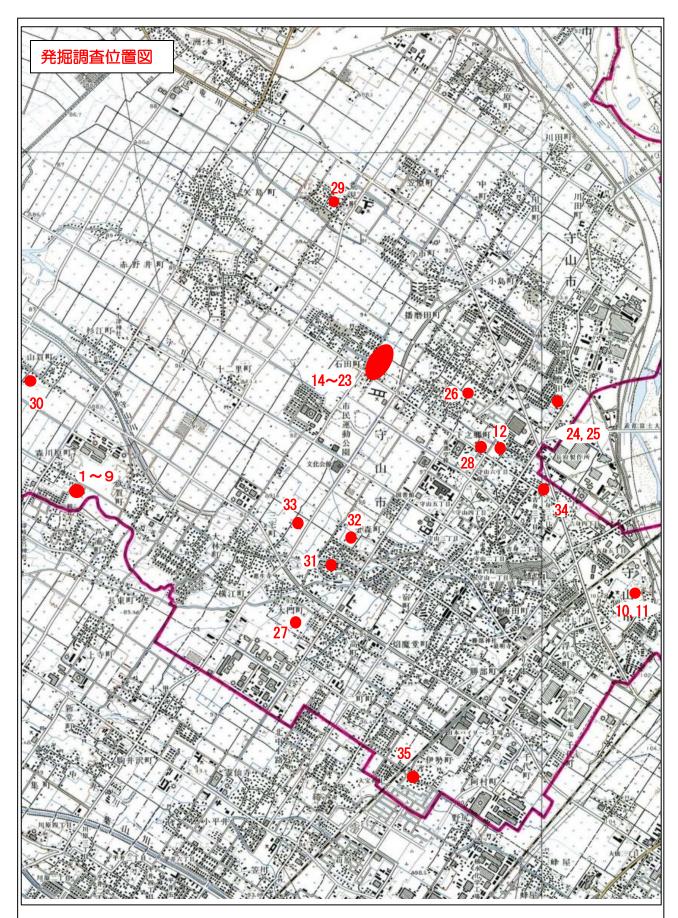
# 令和元年度の発掘調査

令和元年度は、15遺跡で35件の調査を実施しました。調査の概要は下表と次頁位置図にまとめています。調査原因は、遺跡包蔵地内の宅地造成工事とその後の住宅建築が大半を占めます。

#### 令和元年度発掘調査一覧表

(遺跡毎、着手順、調査面積は概数・㎡)

	,_,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		-m-	1	=m-			
番号	遺跡名(調査次数)	調査所在地	調査面積	調査期間	調査 種別	調査原因	担当	乙貞 掲載
1	欲賀西遺跡(8)	森川原町字村之内	23	H31.4.11~4.12	本調査	個人住宅	川畑	
2	欲賀西遺跡(9)	森川原町字村之内	15	H31.4.16	本調査	個人住宅	大東	6月号
3	欲賀西遺跡(10)	森川原町字屋敷	31	R1.6.26	本調査	個人住宅	川畑	
4	欲賀西遺跡(11)	森川原町字村之内	21	R1.7.11~7.12	本調査	個人住宅	川畑	
5	欲賀西遺跡(12)	森川原町字村之内	250	R1.8.1~9.5	本調査	宅地造成	堀田	10 月号
6	欲賀西遺跡(13)	森川原町字村之内	16	R1.9.24	本調査	個人住宅	川畑	
7	欲賀西遺跡(14)	森川原町字屋敷	18	R1.10.15	本調査	個人住宅	大東	
8	欲賀西遺跡(15)	森川原町字村之内	25	R1.12.3~12.4	本調査	個人住宅	川畑	
9	欲賀西遺跡(16)	森川原町字村之内	12	R2.2.25	本調査	個人住宅	大東	
10	吉身海道遺跡(4)	立入町字宮畔外	300	R1.5.7~521	本調査	道路建設	堀田	6月号
11	吉身海道遺跡(5)	立入町字仁名寺	900	R1.5.7~7.31	本調査	道路建設	畑本	6.8 月号
12	下之郷遺跡(116)	下之郷二丁目字平川端	670	H31.4.17~R1.8.2	確認調査	宅地造成	川畑	6·10 月号
13	下之郷遺跡(117)	下之郷二丁目字見田	10	R1.7.31~8.6	確認調査	敷設工事	川畑	
14	播磨田西遺跡(26)	石田町字十三	25	R1.6.21	本調査	個人住宅	大東	
15	播磨田西遺跡(27)	石田町字七ノ坪	20	R1.6.27	本調査	個人住宅	大東	
16	播磨田西遺跡(28)	石田町字七ノ坪	20	R1.7.10	本調査	個人住宅	大東	
17	播磨田西遺跡(30)	石田町字七ノ坪	15	R1.7.24	本調査	個人住宅	大東	
18	播磨田西遺跡(31)	石田町字七ノ坪	12	R1.8.1	本調査	個人住宅	北川	
19	播磨田西遺跡(32)	石田町字十三	203	R1.10.9 ~11.20	本調査	宅地造成	畑本	12 月号
20	播磨田西遺跡(33)	石田町字七ノ坪	10	R1.11.19	本調査	個人住宅	大東	
21	播磨田西遺跡(34)	石田町字七ノ坪	20	R1.11.28	本調査	個人住宅	大東	
22	播磨田西遺跡(35)	石田町字十三	21	R1.12.6	本調査	個人住宅	大東	
23	播磨田西遺跡(36)	石田町字下笠村	344	R2.1.27~2.21	本調査	宅地造成	畑本	2·4 月号
24	播磨田東遺跡(57)	播磨田町字堂前	15	R1.5.24	本調査	個人住宅	大東	
25	播磨田東遺跡(58)	播磨田町字平芝	29	R2.3.11	本調査	個人住宅	川畑	
26	播磨田城遺跡(8)	播磨田町字古城	31	R2.2.17	本調査	個人住宅	川畑	
27	下長遺跡(27)	古高町字押事	150	R1.6.19~7.10	本調査	宅地造成	堀田	8月号
28	正福寺遺跡(7)	下之郷一丁目字シノ	400	R1.12.16~1.27	本調査	宅地造成	堀田	2月号
29	布施野城遺跡(4)	播磨田町	40	R1.5.29~5.31	本調査	個人住宅	大東	
30	正楽寺遺跡(2)	山賀町	15	R1.10.4	本調査	個人住宅	大東	
31	金森城遺跡(2)	金森町字里中	25	R1.6.12	本調査	個人住宅	大東	
32	金森東遺跡(61)	金森町字野辺	15	R1.12.16	本調査	個人住宅	大東	
33	金森西遺跡(5)	三宅町字保毛	42	R1.11.27	本調査	個人住宅	大東	
34	二/畦·横枕遺跡(60)	吉身三丁目字橋本	15	R2.1.9	本調査	個人住宅	大東	
35	伊勢遺跡(129)	伊勢町字伊勢里	12	R2.2.27	本調査	個人住宅	大東	



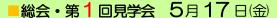
**凡 例** 1~9: 欲賀西遺跡,10,11: 吉身海道遺跡,12,13: 下之郷遺跡,14~23: 播磨田西遺跡,24,25: 播磨田東遺跡,26: 播磨田城遺跡,27: 下長遺跡,28: 正福寺遺跡,29: 布施野城遺跡,30: 正楽寺遺跡,31: 金森城遺跡,32: 金森東遺跡,33: 金森西遺跡,34: 二ノ畦・横枕遺跡,35: 伊勢遺跡

# 守山市立埋蔵文化財センター友の会の会員を募集中です!

埋蔵文化財センター友の会は遺跡や歴史、文化財に興味を持つ者の集まりです。県内外の史 跡や博物館、社寺仏閣などの見学を通じ、自己研鑚に励んでいます。

興味のある方の入会をお待ちしています!

令和元年度の主な活動



総会:近江八幡市立図書館

見学先:伝統的建造物群保存地区





「若狭探訪 -重要文化財を訪ねて-」

見学先:若狭三方縄文博物館・敦賀市立博物館





## **■特別見学会 11**月28日(木)

「名古屋紀行

~記念物と尾張の文化資源を観る~」

見学先:名古屋市博物館•愛知県陶磁美術館







#### ■第3回見学会 3月8日(金)

「京田辺探訪 〜山城地域の重要文化財と文化 資源〜」

見学先: 同志社大学歴史資料館・ 酬恩庵一休寺・

城陽市歴史民俗資料館



年会費 2,000 円、見学会参加費は別途必要となります。

お問合せ・入会申し込みは

守山市立埋蔵文化財センター友の会事事務局 077(585)4397までお電話ください。

# トピックス topics トピックス topi s c s トピックス topics トピックス

# 2020 歴史入門講座開講のお知らせ

## 「歴史の中の文化財~原始から戦国までそして未来の人々へつなぐ~」

詳細は、5月15日号の広報もりやまの他、HP歴史のまち守山・埋蔵文化財センターフェイスブック等に掲載のうえ、受講者を募集します。ぜひ受講してください!

日程/令和2年6月から12月(11月を除く)の第3土曜日の午前10時から12時

(ただし、諸事情により日程等を変更することがあります。)

第1講 6月20日(土) / 第2講 7月18日(土) / 第3講 8月15日(土) / 第4講 9月19日(土) / 第5講 10月17日(土) / 最終講12月19日(土) の全6講開講予定

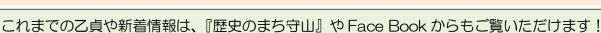
- ◆開催場所 市立埋蔵文化財センター2階会議室
- ◆受講料 1,200円(全6講・1講のみ受講の場合は200円/講)
- ◆申込み受付 令和2年5月15日(金)から
- ◆申込み先 守山市立埋蔵文化財センター 電話・FAX 077-585-4397

### 常設展示のパンフレットを つくりました!

現在、説明パネルを掲示して館内の展示をご案内していますが、この度、縄文時代から中世までの守山の歴史を示品に合わせて解説したパンフレットを配置しました。ご来館の折にご活用ください。なお、歴史のまち守山、埋蔵文化財センターフェイズブックでもご覧いただけます。

▼常設展パンフレット掲載URLはコチラ

http://moriyama-bunkazai.org/wp-content/uploads/2020/04/常設展パンフレット1.pdf





←歴史のまち守山はコチラから

http://moriyama-bunkazai.org

守山市立埋蔵文化財センターFacebook ページはコチラから▶ <a href="https://www.facebook.com/MaibunMoriyama/?ref=bookmarks">https://www.facebook.com/MaibunMoriyama/?ref=bookmarks</a>



【後記】洋の東西を問わず、人類の戦いの歴史のひとつに疫病との戦いがあります。天平 7 (735)年には、天然痘が流行します。この時代、日本は中国の政治制度に倣って中央集権国家を目指しました。都とその周辺国(五畿)と東海道や東山道、北陸道など、それ以外の地方を 7 行政区(七道)に分けて政治を行う「五畿七道」と呼ばれる制度を定め、都と地方を結ぶ幹線道路を整備しました。このインフラ整備によって活性化した人々の往来が疫病の感染拡大に拍車をかけ、一説には、その当時の人口の25%が疫病の犠牲になったと考えられています。現在の航空機による人々の大陸間移動が限定された風土病を世界各地に拡散させている現象の古代、日本列島版と言えなくもありません。

この時代、天然痘流行にとどまらず、地震災害や時代を通しての旱魃や飢饉の常態化が古文書からうかがえます。社会や民衆が疲弊の極みに陥ったことから、発願されたのが東大寺廬舎那仏、奈良の大仏です。さぞかし人々に希望を与えたのではないでしょうか。歴史は繰り返されます。今回の感染症禍も終息後、人々を奮い立たせる何かが現れることを望んでいます。 (馬耳東風)